

国立大学法人東京大学と資産活用企画に関する協定を締結 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社、株式会社三菱UFJ銀行と連携

三菱地所株式会社（以下、三菱地所）は、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社及び株式会社三菱UFJ銀行と共に、国立大学法人東京大学（以下、東京大学）の財政構築を加速させる施策の一環として、「資産活用企画に関する協定」を締結しました。

本協定は、東京大学が世界最高水準の教育・研究を維持・発展させ、その成果を社会に還元することを目的としています。3社がそれぞれの事業上のノウハウをもとに、東京大学が保有する資産の有効活用に関して、主に以下のポイントについて企画提案・協力します。

1. 東京大学が保有する不動産の有効活用
2. 東京大学が保有する研究成果等の有効活用
3. 東京大学の財政基盤の拡充

教育研究活動を行う国立大学法人にとって、安定した財政基盤の構築は喫緊の課題です。国立大学法人の資産の運用は、国立大学法人法により規定されていますが、2017年4月1日を施行期日として同法の一部が改正されました。これにより、教育研究開発活動に支障が無く、また文部科学大臣の認可を受けた場合に限り、土地等を第三者に貸し付けることが可能となりました。今後、民間企業のノウハウを活かした大学所有資産の効率的な活用・運用が期待されます

当社は、オフィス・商業・住宅・ホテル等、様々な開発を通じて多くの街づくりを手掛けています。豊富な実績や専門知識を活かし、コンセプトの設定や活用手法のアイデア提案を行うことで、東京大学の不動産有効活用に向けた連携・協力を図ってまいります。



■締結日

2018年5月16日(水)

■出席者

五神 真 (国立大学法人東京大学 総長)

吉田 淳一 (三菱地所株式会社 執行役社長)

村林 聡 (三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 代表取締役社長)

堀 直樹 (株式会社三菱UFJ銀行 取締役専務執行役員)